

A 健康状態	1.	脊柱管狭窄症
	2.	変形性膝関節症
	3.	陳旧性脳梗塞、糖尿病
	4.	高血圧症
	5.	
	6.	

根本的な原因・課題 自立した日常生活の阻害要因 (心身の状態、環境等) ※課題整理総括表にリンク	1	脊柱管狭窄症・膝関節症による痛み、脳梗塞によるしびれ	2	物忘れ	3	介護力不足
	4	腰の痛み、低栄養による歩行不安定	5	他者との交流の機会不足	6	

	原因	状況の事実 (状態)				課題・ストレングス		関連項目	見通し	
		項目	現在	備考	できること・できそうなこと	課題	ストレングス			
B 心身機能 ・ 身体構造		1.	視力	問題無			1.物忘れがあり、何度も同じことを聞いたり、片付けができない、薬の飲み忘れなどがある。 2.糖尿病等もあるが、調理ができず惣菜で済ますことが多い。バランス悪く低栄養状態。 3.病期の進行により、不安、ストレスを抱えている。	1.症状としては軽く、軽い声かけ等で行うことができる。 2.食欲、摂取動作には問題ない。 3.定期受診などされており、近隣クリニック主治医の支援がある。	A1,A2,B8,C3,C15,C17,C18,	医療的フォロー、痛みの緩和、痛みの程度に応じたリハビリの提供、栄養状態の改善、家族への介護指導や環境整備などを行うことで病状が安定し、自宅で健康的で安全な生活が継続できる。
		2.	聴力	問題無						
		3.	口腔衛生	支障なし						
		4.	排尿・排便	支障なし						
	3,4	5.	栄養状態	不良	惣菜等を食べる機会が多く、低栄養状態。	栄養指導等で改善する可能性。				
		6.	身長	155	cm					
		7.	体重	42	kg					
	3,4	8.	BMI	17.5	kg/m2					
		9.	アレルギー	無						
		10.	麻痺・拘縮	無						
		11.	褥瘡・皮膚の問題	支障なし						
	5	12.	認知	支障あり	何度も同じことを聞く、片付けができない。	軽い声掛けなどで行える可能性がある。				
		13.	行動障害 (BPSD)	支障なし	(<input type="checkbox"/> 暴言 <input type="checkbox"/> 暴行 <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> 多動 <input type="checkbox"/> 昼夜逆転 <input type="checkbox"/> 不潔行為 <input type="checkbox"/> 介護抵抗 <input type="checkbox"/> 夜間不穏 <input type="checkbox"/> 異食行為)					
		14.	精神症状	問題無	(<input type="checkbox"/> 妄想 <input type="checkbox"/> 幻覚 <input type="checkbox"/> せん妄 <input type="checkbox"/> 依存 <input type="checkbox"/> 見当識 <input type="checkbox"/> 無関心)					
C 活動	1,4	1.	移動 (室内)	見守り	つかまり歩きをしている。	リハビリや栄養改善、環境整備によりしっかり安全に移動できるようになる可能性。	1.痛みや低栄養の影響で、歩行が不安定、つかまり歩きをしており、移動時夫が付きそう。 2.入浴の際、移動や浴槽へ入るときに不安定、娘の介助が必要。 3.軽い物忘れがあり、薬の飲み忘れがある。 4.物忘れや歩行不安定などにより、家事全般について介助が必要。 5.腰痛が強くなり起き上がり動作に介助が必要。	1.リハビリ意欲はある。 2.洗身は手の届く範囲は可能。長女も支援ができる。 3.声掛けをすれば、飲むことができる。 4.調理など、家事をまた行いたいという意欲あり。夫もこれまで家事や介護はやったことはないが、協力したいという思いもある。 5.軽い認知機能低下であり、介護用ベッド等の操作も覚えられる。	A1,A2,C1,D1,Ga1,H1	他者との交流を支援することで、楽しみのある生活を再開でき、物忘れの進行を予防できる。
	1,4	2.	移動 (屋外)	一部介助	屋外へは殆ど出ていない。	リハビリや栄養改善などにより、しっかり歩けるようになる可能性あり。				
	3,4	3.	食事内容	支障あり	調理できるものがないため惣菜等を食べる機会が多く、栄養バランスが悪い。	栄養指導等で改善する可能性。				
		4.	食事摂取 (動作)	自立						
		5.	食事摂取 (問題)	問題無						
		6.	食事形態	常食						
		7.	食事摂取量	普通						
	1,4	8.	水分摂取	見守り	トイレが近くなるという理由で、あまり飲みたがらない。	声掛けをすれば、飲むことができる。				
	1,4	9.	排泄動作	一部介助	移動時に段差があり、夫にトイレまで連れて行ってもらう。一度間に合わなかった事がある。	環境の整備や歩行能力の向上により、自立する可能性あり。				
		10.	口腔ケア	自立	部分義歯、自分で洗える。					
	1,3,4	11.	入浴	一部介助	浴室までに段差があり、浴槽への出入りも介助必要。長女が土日に訪問、どちらかで週1回入浴介助をしている。	環境の整備、動作の評価や訓練を行うことで、できることを増やしたり、入浴回数を増やせる可能性がある。				
	1,3,4	12.	更衣	一部介助	屈伸が不自由で、靴下は介助している。	その他の行為についてはゆっくり行える。				
		13.	整容	自立						
		14.	寝返り	自立						
	1,4	15.	起き上がり	一部介助	布団で就寝。腰痛が強くなり、夫が引っ張り起き上がりの介助をしている。一緒に転びそうになった事がある。	介護用ベッドを使用することで、起き上がり動作が自立し安全に行える可能性。				
	1,4	16.	移乗	一部介助	不安定であり、時々介助している。					
	2,3	17.	服薬	一部介助	本人が管理しているが、飲み忘れがある。娘が土日に確認している。	服薬の支援を行うことで、飲み忘れが少なくなる可能性。				
	2,3,4	18.	調理 (献立・片付け含む)	全介助	数回してみたが、味付けができなくなり、現在は行っていない。	調理支援を行えば、ある程度自立する可能性がある。				

A 健康状態	1.	脊柱管狭窄症
	2.	変形性膝関節症
	3.	陳旧性脳梗塞、糖尿病
	4.	高血圧症
	5.	
	6.	

根本的な原因・課題 自立した日常生活の阻害要因 (心身の状態、環境等) ※課題整理総括表にリンク	1	脊柱管狭窄症・膝関節症による痛み、脳梗塞によるしびれ	2	物忘れ	3	介護力不足
	4	腰の痛み、低栄養による歩行不安定	5	他者との交流の機会不足	6	

	原因	状況の事実 (状態)				課題・ストレングス		関連項目	見通し	
		項目	現在	備考	できること・できそうなこと	課題	ストレングス			
C 活動	2,3,4	19. 掃除 (ゴミ出し含む)	全介助	日曜日に長女が訪問して行っている。	声掛け等により、できる範囲の片付けなどは行える可能性あり。					
	2,3,4	20. 洗濯	全介助	同上						
	2,3,4	21. 買物	全介助	日用品は長女、惣菜を夫が買ってくる。						
		22. 整理・物品の管理	自立							
	2	23. 金銭管理	全介助	夫が管理している。						
	1,3,4	24. コミュニケーション能力	支障なし	痛みが強い時は話が噛み合わない時がある。	普段は通常の会話に問題なし。					
		25. 意思伝達	できる							
		26. 意思決定	できる							
	27. 指示反応	通じる								
D 参加	1,2,4,5	1. 社会との関わり	支障あり	痛みが発生し今年4月以降、ほとんど外出しなくなり、友人との関わりもなくなった。	友人等の支援により、関わりが再開できる可能性あり。	1. 痛みなどで外出の機会が無くなり、交流の機会もなくなった。	1. 支援してくれるハイキング仲間や、教え子がいる。			
	1,2,4	2. 家庭での役割	支障あり	家事などの役割が減っている。	声掛け等を行うことで、できる家事が増える可能性あり。					
		3. 地域での役割	支障なし							
		4. 施設での役割	支障なし							
		5.								
		6.								
E その他	1,4	1. 居住環境	支障あり	屋内段差が多く、手すりなどの設置なし。	環境整備を行うことで転倒リスクを軽減できる。	1. 屋内に段差多く、転倒の危険性が高い。手すり設置等段差への対応が必要。	1. 持ち家。息子が工務店をしている。夫も大工をしている。			
	3	2. 介護力	支障あり	近隣に済む娘は土日のみ支援、夫は介護はあまり行ったことはなく、虚弱。	夫は介護などやっていきたいという思いがある。	2. 娘は仕事のため土日のみ支援が可能。	2. 夫も介護に協力したいという気持ちがある。			
		3. 家族支援の必要性	必要なし							
		4.								
		5.								
F 特別な状況	1.	<input checked="" type="checkbox"/> 日中独居 <input type="checkbox"/> 虐待 <input type="checkbox"/> ターミナル <input type="checkbox"/> 成年後見 <input type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> その他 ()								
2.										
因子	G 環境因子				H 個人因子					
a 促進因子	1.	近隣に長女家族が住んでおり、土日はいろいろな支援を行っている。				1.	社交的な性格、我慢強い。			
	2.	夫と同居、買い物などの支援を行っている。				2.	お菓子作りが好き。もともと料理は好きだった。			
	3.	ハイキング仲間や、教え子との交流があった。				3.	ハイキング、散歩が好きだった。			
	4.	年金が月15万程度あり、貯金もある。				4.	保育士をしていた。			
	5.	夫も家事や介護に協力したいという気持ちがある。				5.				
b 阻害因子	1.	玄関や浴室など自宅内に段差が多い。				6.				
	2.	同居の夫が虚弱。				7.				
	3.	長女は平日に仕事があり、支援ができない。				8.				
	4.					9.				
	5.					10.				